

看護職のための再就職支援研修プログラムにおける メンター補助機能システムの検証

Evaluation of the mentor functional system of the employment support training by Web for the nurses who have not been employed

中村 裕美子^{*1}, 真嶋 由貴恵^{*2}, 前川 泰子^{*2}, 深山 華織^{*1}, 星 和美^{*1}
Yumiko NAKAMURA^{*1}, Yukie MAJIMA^{*2}, Yasuko MAEKAWA^{*2}, Kaori FUKAYAMA^{*1}, Kazumi HOSHI^{*1}

^{*1}地域保健学域 看護学類 大阪府立大学

^{*1}School of Nursing, Osaka Prefecture University

^{*2}現代システム科学域 知識情報システム学類 大阪府立大学

^{*2}College of Sustainable System Sciences, Osaka Prefecture University

Email: naka-yu@nursing.osakafu-u.ac.jp

あらまし: 看護業務に従事していない者の再就職を支援する e ラーニングによる研修プログラムにあわせて利用できるメンター補助機能システムを開発し, 14 名のモニターによる 1 ヶ月間の利用後に構成的質問紙およびグループインタビュー法により評価を行った。メンター補助機能システムへの質問内容は, 看護技術や新しい情報の問い合わせが多く, メンターへの相談により再就職に対する不安の軽減が図られていたことから, メンター補助機能システムは効果的であることが明らかになった。

キーワード: 看護師, 再就職支援研修プログラム, メンター補助機能システム, e ラーニング

1. はじめに

日本では少子高齢化の進展により, 看護職の不足が問題になっている。そこで看護の資格を持ちながら看護業務に従事していない者(以下, 潜在看護師)の再就職を支援する必要があるが, 潜在看護師は, 看護能力不足を感じており⁽¹⁾ 復帰のための研修プログラムの開発が必要である。しかし潜在看護師は名前の通り所在不明のため, いつでもどこでも学習できる e ラーニングによるプログラム⁽²⁾ は有効であり, 現在開発を進めている。

潜在看護師の年齢幅は広く, ICT(Information and Communication Technology) リテラシーも個人差があることから, 再就職を希望する看護職が効果的に学習に取り組めるための支援が必要になる。そこで本研究では, 開発した研修プログラムとあわせて, 学習をサポートするメンター補助機能システムを開発した (<http://enurse.nursing.osakafu-u.ac.jp/osusume/>)。利用者調査により, これらシステムや機能の利便性, 簡便性と支援の効果についての評価を行ったので報告する。

2. 研究目的

e ラーニングによる看護職の再就職支援研修プログラムとメンター補助機能の利便性, 簡便性, 支援の効果について検証することを目的とする。

3. 研究方法

3.1 研究対象者

研究協力者は, 0 府ナース・センターで開催され

た再就職支援研修会(平成 23 年 11 月)の参加者 19 人のうち, 研究協力に同意の得られた者 14 名である。

3.2 調査期間

平成 23 年 11 月～平成 23 年 12 月

3.3 調査方法および内容

研究協力者には, 再就職支援研修会期間中の 1 ヶ月間, 本研修プログラムとメンター補助機能システムの利用を依頼した。メンター補助機能では学習者からの質問に対してメンターが回答し, 関連教材を推奨することができる(図 1)。

研修プログラム利用後に構成的質問紙調査とグループインタビュー調査を行なった。内容は, 研修プログラムの教材・提供方法に関する評価, 改善点, メンター補助機能・提供方法に関する評価, 改善点, 研修プログラムとメンター補助機能利用による再就職に対する不安の変化である。

分析方法は, 基本情報は記述統計, 質的データは, 質的記述的分析を行なった。

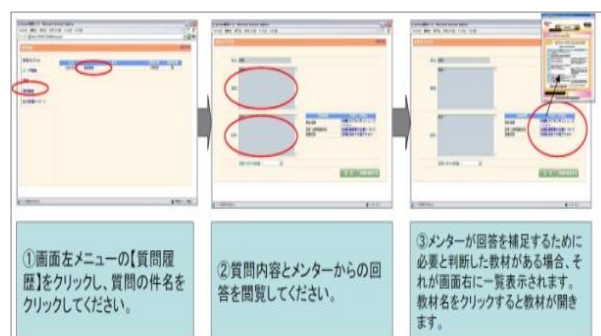


図 1 メンター補助機能システムの Web 画面

3.4 倫理的配慮

研究協力者に対して、研究協力の依頼を口頭と文書で行ない同意書を得た。個人名や施設名が特定されないこと、得られた情報は研究目的以外で使わないこと、研究中のデータ管理は厳重に行い、研究後は速やかに破棄すること、研究途中での参加拒否による個人への不利益は生じないことを保障した。本学看護学部研究倫理委員会の承認を得て実施した。

4. 結果

4.1. 基本属性

研究協力者は、全員女性で、年齢は30歳代3人、40歳代10人、婚姻状況は、未婚3人、既婚10人、死別・離婚1人であった。看護職としての平均勤務年数は6.3±5.2年、平均離職期間は、12.9年±7.1年、退職理由(複数回答)は結婚6人、職場の人間関係4人、健康上の問題4人、妊娠・出産3人などであった。

4.2. 研修プログラムの教材評価

研修プログラムのべ利用時間は、最頻値21～24時間、アクセス回数は、2～3回5人、4～5回と10～11回が4人であった。研修プログラムの総合評価は、「とてもよい」3人「よい」6人、「あまり良くない」が4人であった。

研修プログラムの教材コンテンツについての評価は、「内容が豊富」「わかりやすい」、「映像で手順を確認できる」、「事例の看護師の対応が現実的でよい」「知識カード、問題学習は勉強になる」、学習効果については、「再就職への不安が減少する」が抽出された。

4.3. 提供方法および改善点

システムについては、「利用しやすい」、問題点として、「教材探しが大変」、「見るのに時間がかかる」「パソコンに慣れていないため本がよい」などが抽出された。

4.4. メンター補助機能の評価

メンター補助機能システムの利用者は、7人(50%)、質問は13件で、映像技術の内容確認と新しい情報提供、システムの問題などであった(表1)。

表1 メンター補助機能利用状況と回答日数

区分	質問内容	回答日数
新情報	看護記録(電子カルテ)	0日
	痛みコントロールの代表的な薬剤	2日
役割変更	男性への導尿	4日
映像技術確認	AEDの電極パッドの取り付け	5日
	筋肉注射後のマッサージ	1日
	気管内吸引でのカフ圧チェック	4日
	気管内吸引での酸素飽和度測定	4日
	経管栄養後の酢水の注入	5日
	採血手順、消毒	3日
問題解答	看護倫理：自己決定権	2日
	患者誤認の防止(一時保存)	—
システム関係	システムへの意見	0日
	登録者名の誤表示	3日

メンター補助機能システムの総合評価は、利用者7人中「よい」5人、「あまりよくない」2人であった。メンター補助機能の評価は、質問については、「今さら聞けそうにないことでも質問できる」、「質問できることは心強い」、回答については、「丁寧でわかりやすい回答で親近感を感じる」、「回答に研修プログラム(教材コンテンツ)の提示がありよかった」、回答の時期については「早く回答してほしい」、「回答の時期がわからず利用しにくい」が抽出された。

4.5. 提供方法、改善点

画面について「記入欄が小さく読みづらい」、改良点として、「ボタンを目立つようにする」、「質問の例示をする」、活用方法の提案として「質問を公開してもよい」が抽出された。

4.6. メンター補助機能利用による再就職に対する不安の変化

再就職に対する不安については、「研修プログラムを利用することで軽減された」と10人(71.4%)が評価した。再就職に関する不安は、「医療現場の変化についていくこと」、「看護技術を忘れていく」、「コミュニケーションの取り方」、「新たに看護師が実施するようになった技術への対応」、「電子カルテやオーダーリングシステムの使用」、「医療事故をおこすのではないかという不安」や「自分の体力」、「職場の人間関係」などが抽出された。

5. 考察

メンター補助機能システムは、eラーニングによる学習をサポートし、再就職への不安を軽減するという効果を有していることが明らかになった。とくにメンターからの丁寧な回答と学習教材の提示は高い評価が得られた。メンターへの質問内容から、メンターには最新の医療・看護の情報を回答できる臨床の看護職、看護技術映像への質問に回答できる教材制作者の看護職、またシステムの質問に対応できるシステムエンジニアが必要であると考えられる。

一方、メンター補助機能システムの課題としては、個別の質問にタイムリーな回答を行うことの限界があること、学習サポートを利用者とメンターとの関係で完結しているため、学習者相互の交流が図れないことがあげられる。今後のメンターシステムの開発には、SNSなどを活用していく必要がある。

本研究は、科学研究費補助金(基盤研究B)により実施した。

参考文献

- (1) 中村裕美子, 真嶋由貴恵, 細田泰子, 星和美: 看護職の再就職支援研修に関するニーズ調査報告書, 2010
- (2) Y. Majima, Y. Nakamura, Y. Maekawa, H. Makino, Y. Nakajima, M. Hiramatsu: Designing an E-learning System to Support Re-employment of Potential Nurses, PROCEEDINGS OF THE IADIS INTERNATIONAL CONFERENCE, WWW/INTERNET 2010, pp.402-405, 2010.